

大阪信用金庫 女性活躍推進法に基づく行動計画

大阪信用金庫は、職員が職業生活と家庭生活を両立し、能力を十分に発揮し活躍できる環境の整備を行うため、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間 2021年4月1日～2026年3月31日(5年)
2. 課題 (1) 女性管理職の増加と、定着のための職場環境整備
(2) 職業生活と家庭生活の両立を可能とさせる体制整備

目標1:管理職に占める女性労働者の割合を15%以上にする。

〈取組内容〉

計画	2021年3月末	8.6%
	2022年3月末	11.0%
	2023年3月末	12.0%
	2024年3月末	13.0%
	2025年3月末	14.0%
	2026年3月末	15.0%

- 2021年4月～ 管理職に対する研修カリキュラムの作成、研修の実施
- 2021年10月～ 女性管理職に対するヒアリングの実施及び意見交換の実施
- 2022年4月～ 管理職候補の女性職員を対象としたキャリアプランに関する面談の実施

目標2:男女とも平均勤続年数を13年以上とする。(計画期間終了までに達成)

〈取組内容〉

- 2021年4月～ 全社員を対象に、仕事と家庭生活の両立に関する調査を実施
- 2021年10月～ 時差出勤制度やフレックスタイム制度、短時間勤務制度の運用について見直しの開始、社内アンケートの実施
- 2021年10月～ 時短勤務終了前の職員に対し、ヒアリングの実施
- 2022年4月～ 時差出勤制度やフレックスタイム制度の運用を試行的に開始

【情報公表項目】

■採用した労働者に占める女性労働者の割合

採用年度	女性	男性	計	女性比率
2020年度	61	30	91	67.0%

■管理職および監督職に占める女性労働者の割合

	女性	男性	計	女性比率
管理職	16	171	187	8.6%
監督職	172	340	512	33.6%

※「管理職」とは、副支店長以上の職位です。

※「監督職」とは、代理・主査・係長で数名の部下職員を持ちます。

■男女の平均継続勤務年数の差異

	女性	男性	男女差
平均継続勤務年数（年）	11.8	17.43	-5.63

（2021年3月1日現在）